

あぶり八尾太田介護職員／レクリエーション委員

中野 祐輔

デイサービスあぶり“For Healthy Life”

機能訓練指導員

いけ

や よ い

池田 弥生



——1年を通して一通りの経験を
し、現在大変だと感じていること
は何ですか。



池田 私は利用者様ごとの運動の計画、指導、管理をしているのですが、現在約200名の方にご利用いただいております。お一人おひとりにとってベストな機能訓練のメニューを作成するのが、大変なことだと感じています。あるときは「やりたくない」とおっしゃる方もいて、意欲をかき立てるためのアプローチに日々頭を悩ませることも多いです。逆に、「積極的に運動をしたい！」という利用者様に対して、ときにはお控えいただくことが必要なケースもあります。利用者様のお気持ちに寄り添いながら、専門的な観点から運動メニューを構成し、その方その方にとってより良いご利用になるよう、研鑽を積んでいきたいと思っています。他にも、機能訓練計画書などのパソコンでの書類作成業務をもっと迅速にできるようになりたいと思っています。

中野 私は人を頼るのが苦手で、気づくとたくさん仕事を抱え込んでい



▲新卒2年目同期4名

るときがあります。「これは自分の仕事だから自分でやらなければ」と思うと、周囲の方をお願いできなくなっているの、そこは改めて、これから人を巻き込む力を身につけていきたいと思っています。

——入社から今日までを振り返って、ご自身に変化はありましたか。



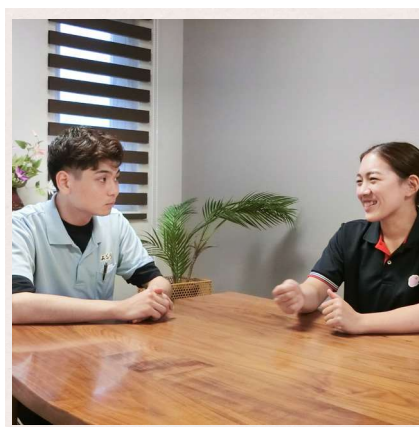
池田 最初はわからないことばかりで、周りの職員の方々からたくさん助けていただきましたが、徐々に一人でできることが増えていきました。1年かけて職場の皆さんとコミュニケーションを重ね、仲間とし

2020年4月に株式会社あぶりに入社した、池田弥生さんと中野祐輔さん。池田さんはデイサービスあぶり“For Healthy Life”で機能訓練指導員として、中野さんはあぶり八尾太田でレクリエーション委員を担当しながら介護職員として勤めています。同期入社2人に、今の職に就いた理由、日頃感じている苦労や、1年を過ぎて成長した点、将来の展望などを伺いました。

——就職にあたり、介護に関わる職業を選んだ理由を教えてください。



池田 私は大学で取得した柔道整復



で認められるようになってきたと感じています。

中野 はじめての介護業界で、入社当初は空回りしながら、ひたすら慌ただしく過ごしていました。その頃に比べると、仕事を覚えてきたためか落ち着きが出て、今では忙しさも楽しめるようになっていました。

——プレッシャーやストレスを感じるときもあると思いますが、どう対処していますか。



池田 利用者様の体調管理に見落としがあると、運動をしてはいけない状態が無理をさせてしまう、病気の兆候を見逃す、といった大きな問題に発展してしまう可能性があるため、責任重大です。そんなプレッシャーを少しでも軽くするため、ちよつとした情報でも、上司やケアマネージャーさんに必ず伝えるような心がけるとともに、高齢者の方に多い疾患やおケガなどの勉強も欠かさないようにしています。

中野 仕事の整理ができておらずバタバタしていると、上司や周りの方が「大丈夫？」と声をかけてくださ

師の資格を生かせる仕事に就こうと、様々な企業の説明会に行きましたが、柔道整復師の主な就職先は接骨院が多いのが現状でした。しかしアルバイトでデイサービスで働いたのをきっかけに、介護業界で働きたいと思うようになりました。中でもあぶりに入社したいと思った理由としては「高齢者の未来にとびつきの笑顔と感動を添える」という理念に共感したためです。

中野 私は就職活動時、特にやりたいいことを見つけられずにいました。そのため介護だけではなく、製造、食品と幅広く様々な業界の会社を受けました。介護業界で働く叔父がいて、よく「しんどい」ともらしていたので、当初介護業界に抱いていたイメージは暗いもので、あまり前向きに考えてはいませんでした。しかし実際にあぶりの職場に足を踏み入れてみると、とても明るい雰囲気職員の方も皆さん生き生きと働いていました。もともとおじいちゃん子、おばあちゃん子だったこともあり、敷居がグツと下がり、介護の世界に飛び込んでみようと思ったのです。

るので、プレッシャーから解放されます。ストレスがたまつて落ち込むときに思い出すのは、学生時代からの友人のこと。「負けてたまるか」という思いを湧き上がらせ、気持ちを奮い立たせています。

——この先の目標をお聞かせください。



池田 理想像は、1人でも生きていける自立した女性。仕事面では誰からも「池田さんに任せておけば安心」と思ってもらえるように頑張ります。

中野 私が目指すのは、施設長。施設長という職に抱いているイメージは、「知識が豊富で、皆から頼られ、自己信頼感の高い人」です。今後、施設の役職につく方々がされている仕事を積極的に取っていき、施設長に一步步近づけるよう力をつけていきたいと思っています。

若さとエネルギーに満ちている池田さんと、中野さん。2人の活躍は、まだじまったばかりです。